

広報
No.223

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成2年8月現在)

世帯数	7,671戸
人口	25,651人
男	13,152人
女	12,499人
7月の人口移動	
出生 33件	死亡 7件
転入 86件	転出 108件
婚姻 14件	離婚 4件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎09894(5)4533 印刷/(協)丸正印刷



長崎市へ平和交流団派遣

平和作文入選の高校生三名も

―被爆地、長崎市へ町民を派遣し平和に対する意識を高めよう―と、町(平安恒政町長)では、八月七日から十日までの日程により「平成二年度平和交流団」を長崎市へ派遣した。

これは、昭和六十年代に決議された「西原町非核反戦平和都市宣言」を町民と共に推進しようとする平和事業の一環で、昨年までの二回は、被爆地・広島へ派遣、今回は、非核都市宣言自治体連絡協議会の全国大会が長崎市開催ということもあり、長崎への派遣となった。

交流団は、平安町長を団長に、平和に関する作文に入選した高校生三名及び一般町民二名に加え、各種団体等からの選考を含む十名で編成、非核都市宣言自治体連絡協議会の全国大会及び長崎平和祈念式典への参加をはじめ、長崎平和祈念資料館等見学や長崎市民との平和交流会を行ない、原爆が投下されたナガサキを追体験した。また、平安恒政団長(町長)は、

非核都市宣言自治体連絡協議会全国大会において、全国六名の自治体からの報告者の一人として沖縄県を代表し、県下における平和事業の取り組み状況や本町における平和事業推進の状況を報告した。

主な内容

○二頁…都留市青少年と交流

☆親子で戦争追体験

○三頁…ゲートボール交流

☆第40回杜明大会

○四頁…東中男子バレーチームが九州四連覇

☆墓地地域指定で答申

☆平成二年「平和を考える町民の集い」

○五頁…「平和に託す思い」

○七頁…南米研修生等を激励

○八頁…家計簿体験談

○九頁…婦人の主張大会

☆第二回福祉バザー

○二頁…町政カレンダー

☆アニメ・クロがいた夏

21世紀を創造する「人間性豊かな文教のまち西原」

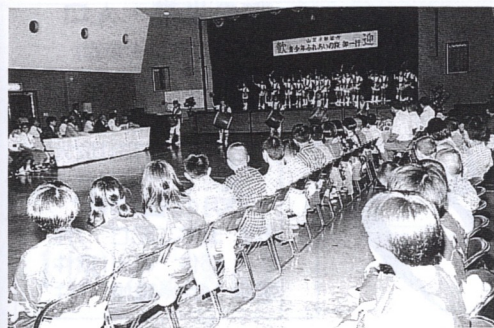
都留市の青少年とふれあい交流

西原町・都留市交流事業で受入れ

山梨県都留市の「青少ふれあいの旅」(団長・都倉昭二市長)一行三十八名が、七月三十一日午後、本町を訪れ、八月二日までの日程により本町の青少年との交流を深めた。

都留市からの交流団は、小学生二十四人、中学生六人、都倉市長、横山守教育長や教育委員会、学校関係者八名の計三十八名。

西原町と都留市は、「海邦国体」と「かいじ国体」に共に、成年男子バスケットボール会場となったことが縁で、交流が始まり、昨年の町制施行十周年記念事業「青少年のふれあいで、エイサーを披露する」：7月31日町中央公民館



青少年のふれあいで、エイサーを披露する
：7月31日町中央公民館



青少年ふれあいの旅で記念撮影
：7月31日町中央公民館にて

町中央公民館で開かれた歓迎レセプションでは、平安恒政町長の歓迎のあいさつ、都倉昭二都留市長の訪問のあいさつ、昨年、都留市を訪問した本町の児童・生徒を代表して、西原中一年の喜納健太郎君が前回訪問のお礼のあいさつの後、相手同志の記念品の贈呈などを行なった。

また、受け入れ側児童生徒代表(西原東小六年・与那覇道君)や

都留市児童生徒代表(都留市二年・早川道夫君)などのあいさつの後、本町の少年少女合唱団や子ども会による子どもエイサー、都留市の都留音頭や、よつちやばれ(みんな集まれの意)踊りなどの子どもの交流アトラクションも披露された。

都留市の「青少年ふれあいの旅」一行は、本町の児童生徒三十二名と行動を共にしながら、町内視察、観光、海水浴をはじめ、南部戦跡地などをめぐり、平和についての体験学習なども実施した。

親子二四〇名余が戦争を追体験

第三回戦争追体験バスツアー

第三回親子で学ぶ戦争追体験平



旧日本軍陣地壕を親子で追体験
：8月15日字小波津にて

歓迎式において平安町長は、「大が立地する共通した面をもつ都留市との交流が実現できて喜んでゐる。次代を担う青少年が勇氣と希望をもつて健全に育成できる友好の輪が広がることを期待しています」とあいさつ。

また、都留市長は、「国体を通しての自治体交流は山梨県でも都留市のみである。交流事業を通しての青少年の成長と沖縄県での平和学習により平和の尊さをしっかりと学んでもらえれば大変に嬉しい」とあいさつを述べた。

ることが目的。

平和バスツアーには、二百四十名余(四十二名の町教委少年少女夏季講座受講生含む)の親子が参加、大型バス五台に分乗、西原の塔での献花、黙とう、本町の戦況の説明を受けた後、字小波津の旧日本軍陣地壕跡、南風原陸軍病院跡、糸数壕、県立平和祈念資料館、平和祈念公園、ひめゆりの塔やひめゆり資料館などを平和ガイドの会メンバーの説明を受けながら見学した。

バスツアー出発式で平安恒政町長は、「悲惨な戦争のおろかさを親子で実地で体験し、平和の尊さを学び、恒久平和に貢献できる二十一世紀の人間として役立つ人になってほしい」とあいさつ。

また、小波津の旧日本軍陣地壕を体験した小学生は、「壕の中はとても暗くて恐かった。戦争中こんな暗い所にも大勢の人達がとじ込められたりしたんだろうか。二度と戦争が起らないようにしないとイケないね」と感想を述べた。

国民健康保険税は納期内に納めましょう。

平成2年度第3期分の納期は9月29日までとなっております。



ゲートボールで親善と交流

世界ウチナンチュ大会を記念

世界のウチナンチュ大会記念
西原町国際親善ゲートボール大会
(町主催、町体育協会・町老人ク
ラブ連合会共催)が、八月十八日

(土)午前、西原東中学校で開催
された。

この大会は、今年、本県で開催
される「世界のウチナンチュ大



ブラジル県人会ゲートボールチーム(10チーム)と町老人クラブゲートボールチーム(14チーム)
が親善大会：8月18日(土) 西原東中学校グラウンド

会」に参加するブラジル県人会ゲ
ートボールチームと本町の老人ク
ラブゲートボールチームとの親善
試合を通して友好と交流を深めて
いこうと実施されたもの。

大会には、ブラジル十チーム、
九十八名、町老人クラブ十四チー
ム、百十八名が参加し、台風接近
による強風の中での三者予選リー
グと決勝トーナメントの親善交流
試合に熱戦を展開した。

親善交流試合に先だちあいさつ
した平安恒政町長は、「ふるさと
沖縄でのゲートボールを楽しむと
共に、本町のゲートボールチーム
との交流と親善友好を深めて下さ

犯罪防止で明るい社会の実現を

第四十回社明大会西原町大会



第40回社明大会のもよう
：7月24日町中央公民館

い。」と激励した。
なお、親善ゲートボール大会の
成績は次の通り。

【優勝】ブラジル10組チーム

米須清亀、新崎ツル、米須トミ

新崎政希、比嘉昭和

【準優勝】西原16区チーム

小波津盛恒、小波津信子、呉屋

カマ、与那嶺太郎、糸数ヨシ子

【三位】ブラジル6組チーム

小波津千代子、具志堅光子、大

城君子、野原ミヨ、新垣信光

☆ブラジル1組チーム

浦添清、金城清光、金城春、仲

村盛光、城間政光

(以上敬称略)

る全国的な運動で、昭和二十六年
からスタート、今年で四十回目を
迎える。

大会には、普天間保護区(西原
・宜野湾・北中城・中城・浦添市)
の関係者多数が参加、犯罪防止を
図り明るい社会の実現に向けての
運動を推進することを誓った。

大会では、伊佐貞壽普天間保護
区保護司会会長の開会のあいさつ
後、平安恒政(西原町長)実施委
員長あいさつ、親泊輝武町議会議
長、小佐野孝史那覇保護監察所長
来賓あいさつ、優秀作文、標語の
表彰式、意見発表などを実施した。

また、劇映画「ある青春の譜」
のフィルム上映や比嘉弘一浦添警
察署長による講話「少年深夜徘徊
防止運動について」も行なわれた。
なお、優秀作文・標語で表彰を
受けた方々は次の通り。

【作文】

西小六年・仲松真由美、坂小六
年・金城吉嗣、東小五年・島袋
ナナ、西中二年・呉屋真紀、東
中三年・比嘉真由美

【標語】

東小五年・国吉教子、坂小六年
川満史子、西小五年・宮良信秀
東中一年・崎原潤一敬称略一

第7回敬老会：平成2年9月15日(土) 午後2時 町中央公民館
わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう。

九州大会で春夏含め四連覇

東中男子バレー部が凱旋報告

―お見事、西原東中男子バレーボールチーム九州大会四連覇―
九州中学校体育大会において、春と夏の大会を含む二年連続の四連覇を飾った西原東中学校（具志堅源三校長）男子バレーボールチームが、八月十三日（月）午前、町役場を訪れ、凱旋報告した。

報告を受けた平安恒政町長は、「西原東中学校の伝統を守り、九州大会四連覇を達成したことは、本町にとっても大きな誇りです。全国大会では、県代表として、九州代表として頑張つてほしい。」と激励した。

これに対し、大城伸吾主将は、「九州大会では、練習通りの成果が出せた。全国大会では、上位に

町墓地地域指定検討委が答申

モデル的墓地公園などを指定

町（平安恒政町長）より町内の墓地の地域指定や経営などについて

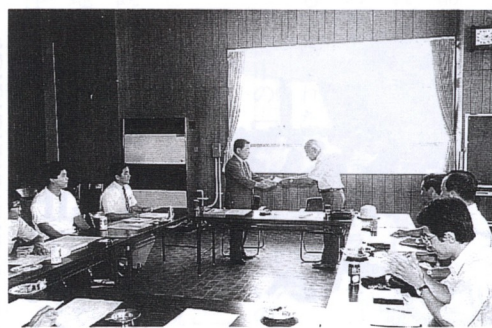
て諮問を受けていた町墓地地域指定検討委員会（平敷静男委員長）では、七月三十日午後、町に対し西原町墓地地域指定等についての答申を行なった。

本町では、近隣市町村からの墓地の需要増大に伴い、農業振興地域などでの違反墓地開発が多発、これらを規制すると共に、将来的な土地利用計画との整合性を図り適切な墓地行政の確立が要請されていた。

同委員会では、町の「基本構想」「基本計画」「西原町墓地地域選定報告書」及び市町村立の霊園（沖縄市、石川市、金武町）の実態調査等を参考に、町内七カ所に絞る観点からの検討を進めると同時に、「町民の墓地に関する意識調査」を実施し、町民の意識等を把握し、答申に反映させている。

答申内容は、各候補地の中から町営のモデル的墓地公園（霊園）とするA地区三カ所、適正な行政指導による公益法人等の経営主体とするB地区二カ所を指定、墓地行政の進め方として、選定地域に

くい込めるように、これまで以上の練習を積み、頑張ります。」と力強くあいさつした。



町墓地地域指定で答申する
：7月30町役場2階会議室

悲惨な戦争の実相を学ぶ

平成二年度平和を考える町民の集い

平成二年度「平和を考える町民の集い」（町教育委員会・町中央公民館主催、町、町議会後援）が八月十一日（土）午後、町中央公民館ホールで開かれた。

これは、悲惨な沖縄戦を風化させる事なく、命の尊さと平和の尊さを子や孫に語り継ぎ、平和で豊かな町づくりを推進しようとするもの。

同委員会では、町の「基本構想」「基本計画」「西原町墓地地域選定報告書」及び市町村立の霊園（沖縄市、石川市、金武町）の実態調査等を参考に、町内七カ所に絞る観点からの検討を進めると同時に、「町民の墓地に関する意識調査」を実施し、町民の意識等を把握し、答申に反映させている。

なお、平敷委員長より答申を受けた平安恒町長は、「土地利用計画の中で、墓地の地域指定が必要だった。答申の基本を踏まえ、町民のコンセンサスを得ながら墓地の開発に取り組みたい。指定地域については、生活空間として多目的に有効利用できるように検討していきたい。」とあいさつ。



講演やフィルム上映で戦争について学ぶ
：8月11日（土）、町中央公民館

わたしたちは、緑を豊かにし、美しいまちをつくりましょう。

「平和に関する論文・作文」作品より

最優秀

西原高校三年 稲 福 志磨子

平和に託す思い

一九七二年五月十五日、二十七年間のアメリカの支配地として占領されていた沖縄は、祖国復帰と共に、日本の一県として、沖縄県が誕生しました。

あれから十八年、県民の復帰に託した願いも虚しく現在も全国の米軍用地の七十五パーセントが沖縄に集中し、飛行機の騒音、住宅地での銃弾発見、米軍人による犯罪やいたずらが、あとをたちま

せん。今、なお沖縄は、たくさんの戦争の傷跡を背負いながら闘っているのです。

毎年、この時期になると、「慰霊の日」に伴って、学校でも、資料展を見たり、戦争体験の話を聞く機会が多くなります。私達西原高校でも、ひめゆり学徒隊の一人であった、宮良ルリ先生の体験談を聞くことができました。

話の内容は、ひめゆり学徒隊ができてから、仲間の犠牲者や、日

本兵士の様子、そして学徒隊員解散、その後終戦までの苦闘を、泣きながら話して下さいました。生徒のほとんどが寝る暇もなく、負傷者の面倒を見なければなりません。戦争の中、いつ自分も命を落とすか分からないのに、逃げることもできないのです。

学徒隊の二百六十名のうち二十名は国の犠牲となりました。生き残った学徒隊達は口々に言います。「亡くなった友人達にすまないことをした」と。別に彼女達が殺したわけでもない。むしろ助けようと努力したはずです。なのに何故、このような思いをしなければならぬのでしょうか。

日本国家のためならば人間一人の命はどうなってもよいというのでしょうか。

沖縄戦での犠牲者は、二十万人をこえると言われています。中でも一般住民が半数を占めるということです。何の罪を犯したわけでも

ない人々を同じ人間が殺す。考えるだけで、身震いを感じます。

私の知らない亡き伯父も十歳と

いう幼い命を国に捧げたと聞いています。きっと間違った教育を受けてきた結果といえるでしょう。

の知らない亡き伯父も十歳という幼い命を国に捧げたと聞いています。きっと間違った教育を受け、それを真実として純粋にとらえてきた結果といえるでしょう。

若い命を、幼い魂を、今、日本政府は「戦争の犠牲者」という言葉だけで処理しようとしています。早く忘れてもらおうとしています。

県民にとって特別な「慰霊の日」までも無くそうとしているのです。肉親を失った遺族が、どうして戦争を忘れることができようか。

今年初めて、戦没者追悼式に総理が参列しました。戦争の苦しみは、その時を生きてきた人にしかわかりません。しかし、それを過去のことでしてではなく、これからの平和の課題としてみつめ直して行くことは、私達にも、本土の人々にもできることだと私は思っています。

ですから総理出席で「慰霊の日」の休日の意義について少しでも理

解して帰って頂けば、県民の軍縮への願いも解ってもらえるものと信じています。

軍縮への願いは沖縄だけではありません。世界唯一、原爆が落とされた広島や長崎の被爆者達の遺族も、人一倍の願いをもっています。ユーロシマという言葉を知っていますか。これは、ヨーロッパをヒロシマみたいにしてはいけな

いといったことで作られた言葉だと聞いています。原爆を体験してない国々もヒロシマやナガサキが、どれほどまでに悲惨な過去を背負っているかということを知りつくしているのです。

私は、原民喜さんの「夏の花」という本を読みました。この本は原爆を体験した原さんが自分も炎の中を逃げながら、その地獄の様子を書き記したものでした。

『死ンダホウガ マシデス』脳裏に深く焼きつけられ、死にざまを想像させます。「ひたすら呻くだけの人、水ヲ下サイと叫ぶ人、そして苦悶のうちに自らの命を絶つ者等々。男であるのか女であるのか分からない、顔は腫れ、目は細く、唇はただれ、痛々しい肢体を露出させている。」同じ人間として生まれながら、偶々戦争時代に、

偶々ヒロシマやナガサキにいたというだけで、被爆者となり、その存在さえも知らないままこの世の者ではなくなつたのです。

私は中学の修学旅行、ちょうど三年前に、長崎を訪れました。もう原爆の面影もなく、戦慄を呼ぶ者もなくなり、観光化され、とても美しい街としてオランダ坂やグラバー園を覗かせてもらいました。四十五年前に、ここは灰と血で染まり、そして、たくさんの遺体が転がっていたことを考えると、時の速さを感じました。ヒロシマ・ナガサキでは、今なお、三十七万人以上の人々が、後遺症で病んでいると聞いています。ケロイド、白血病、貧血、白内障、ガン、赤い斑点ができ髪が抜けて死んでいく原爆症、身体が極度にだるくて働けない原爆ぶらぶら病など、たくさんの恐ろしい病気に苦しんでいるのです。その苦しみ、悲しみを誰にぶつけることもできず、戦争は続いています。イヤ、被爆者だけではありません。子や孫、これから生まれてくるはずの子供達まで、遺伝という形で続いていくのです。人間が実に愚かな生き物であるか、改めて実感します。科学は、人間が生きるための一

町中央公民館映画上映会：平成2年9月30日(日) 午前10時 午後1時
アニメ映画「クロがいた夏」(被爆45周年記念特別企画) 入場料300円

つの道具として導かれてきたはずなのに、人間を殺す原爆に変えたのも人間だからです。そして、このような実態を掘りおこしたのも支配という人間の欲望から来たものなのです。

愚かな人間に、愚かでない善意を持った人間が「ヒト」は生きるために生まれてくるんだということとを、声高らかに言い伝えなければならぬのではないのでしょうか。

戦後、日本は高度成長期を迎え、大幅な経済的發展を成し遂げ、資本主義国家を謳い、個人の意見も尊重される時代となりました。そして今、少しずつではありますが、軍縮に伴って、平和というものを世界が気付き始めたことは事実です。多くの国と国とが互いに助け合って生きていける地球づくりを、やっと始め出したのです。

ソビエトを中心とする社会主義国が、ペレストロイカと共に、国民が平和を言い続け、正義と秩序を求めていくことができるようになったのも、東と西を区別され、鉄の壁で仕切りをつけたベルリンが、長年の隔りを崩壊したのも「世界が大人になった」という言葉の証拠とも言えるでしょう。これから先、東欧の政治情勢の激

変は、しばらく続くものだと思います。日本も、世界をみつめるだけでなく、平和への働き、自由の拡大、そして人間愛を説き、風化されつつある戦争について、もっと積極的に動き出してもらいたいです。

私は戦争を知りません。現在の全人口の半数以上が戦争を知りません。だからこそ、人間の全滅の日まで、地球の最後の日まで戦争を知らないまま終えたいのです。そのほうが幸せなんだと、戦争体験者が言うのですから間違いはないと思うのです。しかしながら、

戦争を体験していない者達の集団の中、イデオロギーの問題がでています。その時私が思い出すのは、アメリカのデューイという教育学者が言った、「人間がもつともよく考える時は『困った状態』におかれた時だ」ということです。困った状態におかれてから考えても、とり返しのつかないことはあるのですから、困った状態におかれる前に考えてほしいと思います。今を生きている人が、解釈しなければならぬ複雑化した国際的問題や、科学の本来の姿を追求していくのも大切な仕事だと思っています。多様化したナショナルリズム

ム時代に、若い世代、つまり私達に覆いかぶさっている果たすべき責任とは何か。今、若者の人口が減り、高齢化社会の進む中で、一番、深刻に取り組むべき問題ではないでしょうか。

現在、各先進国にはヒロシマ・ナガサキに投下したものの何十倍の破壊力を持った核が存在しているといわれています。科学の發展を、恐ろしい核の威力に変え、平和と隣り合って戦争があるということに怯えるのではなく科学を人類の幸福のために役立てる物として努力していくべきだと思います。

二度と同じ過ちを犯かしてはならないと、戦争の犠牲者は成仏できないまま、今、未来を担っている私達に訴えています。そして私達は、この多くの犠牲者の死を、無意味なものにしないように、前向きに受け止め、反戦反核を訴え続けなければならないのです。今の生活に満足し、過去を忘れがちな新人類が、生きているすばらしさ、健康の大切さ、命ある尊さを今一度考え直し、平和の有り難さについて語って行かなければなりません。宮良ルリさんが最後に泣きなが

ら、「伝えていつて下さいね」と力強く言っていたのが耳に残っています。

戦争の悲惨さ、戦争の無意味さを理解し、四十五年前の出来事が、最初で最後のことであつてほしいと願ひ継承伝達していくことができるのは戦争を知らない私達なのです。から。

沖縄の本当の復帰、県民が安心

ボランティアワークキャンプ

西原高校生三十名が体験学習

ーボランティア活動の意義を理解し活動の輪を広げようーを目的に、平成二年度高校生ボランティアワークキャンプ（県社会福祉協議会・町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム守礼の里共催）が、

八月七日から九日までの日程で、守礼の里で実施された。

ワークキャンプには、西原高校ユネスコ同好会（二十名）と同校吹奏楽部（十名）が参加、介護の実技（車イス、歩行、食事等の介助の仕方）や園外活動でのふれ合いやデイサービスでの交流会などを体験した。

西原高校では、ボランティア活動の体験学習は、今年で二回目。お年寄りをいたわり、他人を思いやる素直な心をもった明るく住み良い福祉のまちづくりに貢献できるボランティアの輪が広がります。



西原高校生がボランティアワークキャンプ
：8月7日守礼の里にて

わたしたちは、勤労感謝の心を養い、物を大切にしましょう。

研修生を歓迎、指導員を激励

米国人英語指導員と南米研修生

海外移住者子弟研修生歓迎及び町立中学校英語指導補助員激励会が、七月二十五日午後七時より、町(平安恒政町長)・町教育委員会(稲福泰助町教育長)主催で、本町字小那覇のプリマで開催された。

本町では、今年度から中学校の英語指導に米国人のシャロン・ホーカムさん(西原中)とマリリン・S・コルベックさん(西原東中)の二名を採用、生きた英語の授業を展開している。

また、海外移住者子弟・ブラジ

ルの屋良テレサ郁子さん(ハートライフ病院)、アルゼンチンの呉屋リリアナ・アリシアさん(平安病院)、ペルーの稲福ドリス秋子さん(南西石油)の三名の研修生を受け入れている。

激励及び歓迎会には、学校関係者をはじめ、研修生を受け入れている企業や親類、町内各関係者約百五十余名が出席、琉球舞踊を披露するとともに、歓迎と激励のこ

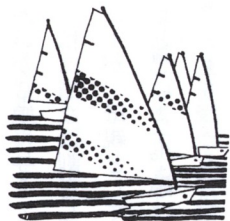
とばを贈った。

主催者を代表し平安恒政町長は、「国際化時代を迎えた今日、子ども達に確かな語学力を身につけてもらい世界にはばなく人間になつてもらいたい。子ども達にも好評であり大いに期待している。

研修生の皆さんは、短期間ではあるが、しっかり学んで、母国と町出身移住者の期待に応えると同時に、本町との親善交流にも役立ってほしい。」と激励のあいさつを贈った。



3名の研修生(写真左から稲福ドリス秋子さん、呉屋リリアナ・アリシアさん、屋良テレサ郁子さん)と米国人英語指導補助員(シャロン・ホーカムさん)を激励する
：7月25日(水)、字小那覇のプリマ



議会のあらまし

来る9月9日に西原町議会議員の一般選挙が行われます。今回の選挙より新たに選挙権を得、投票なさる皆さんのために、町議会の組織や運営について簡単にご紹介することにいたします。

〇〇議会の組織〇〇

地方自治に関することがらは、地方自治法という法令に定められています。その第89条の「普通地方公共団体に議会を置く」という規定を受けて、議会が設けられています。

■町議会は議決機関

町の組織には、執行機関(町長)と議決機関(議会)とがあります。議会の役目は西原町という団体の意思を決定することでありまして、議会を構成する議員は、町民の直接選挙によって選ばれますので、議会は町民の代表機関ということになります。

■町議会の権限

議会の最も大きな仕事は、団体意思の決定であります。地方自治法で議会の議決すべき事項として、予算の議決、決算の認定、条例制定、改廃等が定められていますが、条例でその他のことも議会の議決事項として定めることもできます。

■町議会の運営

議会の活動を分けると、本会議と委員会の活動があげられます。まず、議会が活動するには、町長の招集行為(告示)が必要であります。招集行為がなくて、議員個々が議場に集まって、そこでいろいろなことを決めましても正式の議会活動にはなりません。必ず町長の招集行為があってはじめて、議会活動ができる仕組みになっています。

○本会議

議会は年中開かれてはいるわけではありません。3月、6月、9月、12月の年4回開かれる定例議会と、必要に応じてそのつど開かれる臨時議会があります。

議会は活動開始前に、議会は何日から何日まで会議を開くという会期を決めてから審議活動に入ります。

議案が議決されるまで

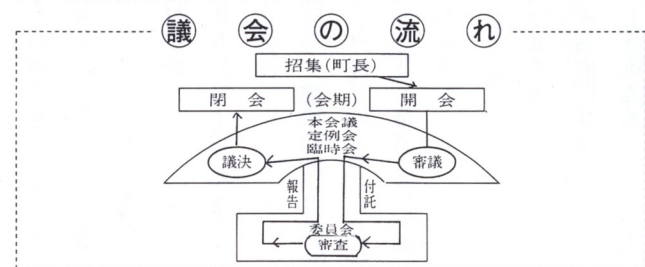
町長から議案が提出されますと、初日の本会議でその提案理由の説明があります。

議員はその議案に対して、疑問の点を質疑をしまして、その下審査のため委員会に付託いたします。

委員会での審査が終了しますと、委員長は委員会の審査経過、結果について本会議で報告します。

次に議案に対して、各議員は賛成か反対の意思表示のために討論をします。討論の後、採決が行われ多数決により、議案が可決になるか否決になるかという結論が出まして、議会の意思が決定されます。

又定例会では、議案とは直接関係なく、町政全般についての一般質問というものが活発に行われています。



わが家の家計簿体験談より

家計簿と我が家のくらし



字棚原785
城間 富子

記帳年数 十年

私が家計簿に関わるようになったのは、長男が生まれた二十八年前ですが、その頃はつけたり、つかなかったりと三日坊主でした。統計関係の方が見えて、統計資料を取る目的で記帳をすめられました。ペンと家計簿がもらえる聞き、喜んで引き受け、一週間つけ方を教わりました。ところがとても面倒くさく報告だけはなんとかすませましたが、その後の家計簿も十分ではありませんでした。ただ子どもの教育、旅行、諸々のいざという時の為の貯金は細々とやり始めました。家計簿もそのうち書き続けられるようになり、それも本心は、主人がけんめいに働いて得たお金を私にまかせてよかったと言われるようにしたいとい

いう一心からでした。

私は大ざっぱな性格なので、細かい数字には神経は使いません。家計簿をつけることは、ただ単に収支に書くだけでなく、子ども達をどう一人前にするかということとも深く関わっています。

ある年、娘が大学を卒業して間もなく、結婚したいといひだしました。予想より早く結婚することになりました。結婚のために毎月二、〇〇〇円、四、〇〇〇円を積み立てていまして、七年間で二十五万円たまっていたお金を元手に、二人を中心に話し合い、質素ながらも会費制の結婚式をして嫁がせることができました。その時、私は主人と話し合い、娘が生まれた時のその緒と家計簿だけを持たせてやりました。娘は、「他の人たちは車とか定期とか、現金の一〇〇万円とか持たせるのに……」と言っていました。心を鬼にし、大学の教育をさせただけでも親の役目を十分果たしたと考え、その二つだけにしました。

後で聞いた話ですが、主人はこっそりとこづかいから娘に与えていたようです。私は損な役割をしたことになりませんが、母親としてこれで良かったと思います。娘は現在、二人の子どもを授かり、家計簿もつけ、何とかやりくりしている様なので一安心です。

十七年前、家を建てましたが、将来増築を目標にその翌年から積み立てを始めました。一昨年、二階を増築しました。一、二〇〇万円程かかりましたが、資金の不足分は息子が借金して補いまして、今は息子が二階に住んでいます。更に昨年はいとこ会で台湾旅行に行くこともできました。それも、家計簿をつけながら、貯蓄をし、楽しみの目標をもつことで実現できたと思います。でも、貯蓄の為に家族の健康や隣近所とのつき合いをおろそかにしたくないので、食費や交際費には十分気をくばり工夫してきました。地域の生活改善グループにもはいり、仲間と勉強しながら、諸々の情報を得、我ながら元気にやってきました。

は、精密検査の為入院しました。いつもより、保健医療費が高くついています。結果は幸いにも更年期障害ということでした。つくづく、健康管理の大変さを味わい、これから、この更年期をどうすごそうかとおそろおそろの毎日です。でも、そんな中で家で引っぱらうだけでもどうしようもないので自分自身の健康づくりのために、私は今いくつかの目標をかげています。その一つが野菜づくりです。収穫した分を収入に換算してみると大したことはありません。

ませんが、隣近所に分けてあげたり、食べきれない分は、月一回のグループの日曜朝市に出しています。朝市の日を毎日楽しみにしています。買う人達からは無農薬の野菜として喜ばれており、おかげですます野菜づくりにはりきっております。

以上、家計簿と我が家のくらしの関わりをありのままにみましたが、今後は、私達夫婦のこれから家計とくらしのため、より一層家計簿を見つめ、健康第一に取り組んでいきたいと思っています。

職業訓練生・

10月生募集

雇用促進事業団・沖縄南技能開発センターでは、離転職者等で再就職を希望する方々に対し、必要な新たな知識と技能を身に付けさせる「平成二年度職業訓練生・十月入所生」を左記により募集しています。

記

一、訓練科名・定員・期間
金属加工、電気設備、総合建築・(各三〇名・一年)
二、応募資格

- (一)公共職業安定所での求職者で就職の意志堅固な者
- (二)義務教育修了者又は同等以上の学力を有する者
- 三、受付期間
平成二年九月二十日(木)まで
- 四、申込方法
保健所等で健康診断を受け写真(サイズ四×三センチ)三葉を添え、最寄りの公共職業安定所へ
- ☆問い合わせ先
雇用促進事業団
沖縄南技能開発センター
☎〇九八九八―三三六七

わたしたちは、つねに学び、文化の高いまちをつくりましょう。

最優秀賞に玉那覇ヨシ子さん

主張大会で婦人の地位向上を

町婦人会(下地郁子会長)文化
部主催の平成二年度『婦人の主張
大会』が、八月四日(土)午後二
時より町中央公民館ホールで開催
された。

同大会は、社会の変動に伴い婦
人の生活と役割が多様化する中で
それぞれの地域に内在する諸問題
を主体的に取り上げ、主張し合う
ことによって、社会的視野を広げ
婦人の地位向上と意識の高揚に寄
与していくとするもの。

大会には、平安恒政町長、稲福
恭助町教育長をはじめ来賓多数の
ほか、会員六十余名が参加、五名
の発表者のそれぞれの立場からの

発表に熱心に耳を傾けた。

主張大会に先だち、下地町婦人
会長は、「婦人の地位向上、資質
の向上が叫ばれている今日、私達
の生活に密着した多種多様な問題
に積極的に婦人の立場で関わり、
実践することで住み良い地域づく
りに貢献でき、会活動の目標達成
ができると確信します。主張大会
を通し、会活動の輪を広げていき
たい。」とあいさつ。

主張大会の結果は、「姑(はは)
と私」をテーマに発表をした八区・

一の玉那覇ヨシ子さんが最優秀賞
に選ばれ、石川市で開かれる中部
地区大会に本町代表として出場す
ることになった。

なお、主張大会で発表した方々
及びテーマは次の通り

【最優秀賞】玉那覇ヨシ子(八区

・一)「姑(はは)と私」

【優秀賞】

仲宗根好美(一区)「支部役員

になって」、与那嶺絹子(同)

「婦人会活動を自身の成長へ」

城間富子(二区)「朝市活動に

取り組んで」、荻堂洋子(十七

区)「地球を守るため、今、私

達ができること」

—以上敬称略—

こんな場合、国民健康保険課へ届出を
するようになります。

交通事故等第三者によってケガ

をした場合は、町役場・国民健康

保険課に届け出をしなければなり

ません。(第三者行為)

交通事故や傷害事件など第三者

の行為によるケガは、国保で治療

を受けることができます。

これは、加害者が負担すべき治

療費を国民健康保険が、一時立替

えて支払うということであり、後

で国民健康保険が加害者に請求を

第二回福祉バザー盛況

ふれあいの輪で福祉資金づくり

第二回西原町福祉バザーが、八
月十九日(日)午前、町中央公民
館で開かれ賑った。

これは、今日の生活物資過剰の
時代において、改めて物資の価値
を見直し、バザーを通して、ふれ
あいの輪を広げ、物を大切にする
心を養い相互の生活向上を図ると

ともに福祉事業資金に寄与するこ
とを目的としたもの。

町社協(宮平吉太郎会長)では、
町民をはじめ、町内企業から物資
の協力を得て、会場いっぱい商
品を展示した。

福祉バザーには、町民多数が足
運び、市販の半額以下の商品
を両手いっぱい買い求める光景も見
られ、わずかの時間で品切れをす
るコーナーも出る程の盛況ぶり。

バザーの販売には、町民生委員
や町婦人会、町農協婦人部などが
協力する一方、町生活改善グルー
プによる米消費拡大運動の一環とし
てのカレーライスが昼食に提供され



第2回福祉バザーのもよう
：8月19日(日)町中央公民館

寄付金

▽「歌とピアノによるジョイント

コンサート」実行委員会(伊江朝

明委員長)では、町の社会福祉の

ために役立てて下さいと、八月五

日(日)町中央公民館でのコンサ

ートの収益金を町社会福祉協議会

香典返し

へ一〇万円、町心身障害児者を育
てる会へ五万円、それぞれ寄付し
た。

▽字翁長113番地、仲宗根辰雄さん
故父、精恵さんの香典返しとして
町社協へ二〇万円。

第11回西原町陸上競技大会：9/15(土)西原東中学校、9/16(日)西原中学校
わたしたちは、スポーツに親しみ、健康の増進につとめましょう。

9月

SEPTEMBER

ながつき
(長月)

町政カレンダー

☆家族プランを入れて活用
下さい。

日	旧暦	潮汐	行事予定
1(土)	7/13 先勝	☉ 3:54 ☾ 11:04 ☉ 17:55 ☾ 23:17	
2(日)	14 友引	☉ 4:52 ☾ 11:45 ☉ 18:20 ☾ 23:55	
3(月)	15 先負	☉ 5:37 ☾ 12:17 ☉ 18:47 ○	旧 盆
4(火)	16 仏滅	☉ 0:27 ☾ 6:16 ☉ 12:51 ☾ 19:11	
5(水)	17 大安	☉ 1:00 ☾ 6:56 ☉ 13:20 ☾ 19:38	心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター クロンボ大会 14:00 町児童館
6(木)	18 赤口	☉ 1:36 ☾ 7:35 ☉ 13:53 ☾ 20:04	
7(金)	19 先勝	☉ 2:10 ☾ 8:14 ☉ 14:24 ☾ 20:34	町社協食事サービス10:00 町中央公民館
8(土)	20 友引	☉ 2:50 ☾ 8:58 ☉ 14:58 ☾ 21:02	
9(日)	21 先負	☉ 3:29 ☾ 9:44 ☉ 15:32 ☾ 21:36	町議会議員選挙投票日 7:00~18:00
10(月)	22 仏滅	☉ 4:15 ☾ 10:36 ☉ 16:08 ☾ 22:12	
11(火)	23 大安	☉ 5:11 ☾ 11:43 ☉ 16:54 ☾ 22:59	
12(水)	24 赤口	☉ 6:23 ☾ 13:24 ☉ 18:06 ○	心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター
13(木)	25 先勝	☉ 0:11 ☾ 8:00 ☉ 15:38 ☾ 20:33	
14(金)	26 友引	☉ 2:06 ☾ 9:36 ☉ 16:51 ☾ 22:14	町社協食事サービス10:00 町中央公民館
15(土)	27 先負	☉ 3:47 ☾ 10:43 ☉ 17:32 ☾ 23:10	第7回敬老会 14:00 町中央公民館 第11回西原町陸上競技大会 13:00 西原東中学校

日	旧暦	潮汐	行事予定
16(日)	28 仏滅	☉ 4:54 ☾ 11:33 ☉ 18:04 ☾ 23:53	第11回西原町陸上競技大会 9:00 西原中学校
17(月)	29 大安	☉ 5:46 ☾ 12:11 ☉ 18:33	
18(火)	30 赤口	☉ 0:28 ☾ 6:27 ☉ 12:47 ☾ 18:59	
19(水)	8/1 友引	☉ 1:01 ☾ 7:06 ☉ 13:16 ☾ 19:22	心配ごと相談 町社会福祉センター
20(木)	2 先負	☉ 1:34 ☾ 7:43 ☉ 13:46 ☾ 19:47	
21(金)	3 仏滅	☉ 2:04 ☾ 8:16 ☉ 14:12 ☾ 20:09	町社協食事サービス10:00 町中央公民館
22(土)	4 大安	☉ 2:36 ☾ 8:52 ☉ 14:40 ☾ 20:34	
23(日)	5 赤口	☉ 3:05 ☾ 9:24 ☉ 15:04 ☾ 20:58	秋分の日
24(月)	6 先勝	☉ 3:38 ☾ 10:01 ☉ 15:32 ☾ 20:34	
25(火)	7 友引	☉ 4:13 ☾ 10:46 ☉ 16:00 ☾ 21:52	
26(水)	8 先負	☉ 4:58 ☾ 11:48 ☉ 16:39 ☾ 22:28	心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター
27(木)	9 仏滅	☉ 6:03 ☾ 13:48 ☉ 17:56 ☾ 23:35	
28(金)	10 大安	☉ 7:17 ☾ 15:50 ☉ 20:42	町社協食事サービス10:00 町中央公民館
29(土)	11 赤口	☉ 1:42 ☾ 9:23 ☉ 16:36 ☾ 22:02	
30(日)	12 先勝	☉ 3:23 ☾ 10:21 ☉ 17:06 ☾ 22:48	坂田小、西原東中運動会 映画上映会 10:00・13:00 町中央公民館

長かった夏休みも、沖縄水産高校の夏の甲子園での活躍、そして我が西原東中学校の全国二位、準優勝の三文字で、沖縄県を全国にアピールし終わったのだらうか。青少年が、大きな目標をめざす時、たゆまぬ努力とその環境づくりに今一度、目を向けたい。

編集委員会より

平和を愛する町民……子どもからお年寄りまでの全ての町民がアニメ映画を通し、今一度、原爆・戦争の恐ろしさを学習できる機会としたいものです。

町教育委員会(町中央公民館)では、九月三十日(日)午前十時と午後一時の二回、町中央公民館ホールで、被爆四十五周年記念特別企画・アニメ映画「クロがいた夏」の映画上映開催します。…広島島の街を駆けまわる子ネコのクロと子どもたちが出会ったものは、……忘れてはならない、つたえなければならぬ戦争被爆の体験を……。

9月30日(日)午前10時・午後1時

アニメ映画「クロがいた夏」

平成2年度ガス安全使用強調運動実施中!

期間9月1日~11月30日